



児童クラブだより3月号

2023年3月1日

社会福祉法人ピスティスの会

中部放課後児童クラブ 分室

寒さの中にも少しずつ暖かい日を感じられるようになり、気が付けば早くも今年度最終月を迎えます。最近では、部活動に参加している子どもたちたちがクラブに登所した第一声は「お腹空いた」です。その空腹を満たすようにおやつを食べ、宿題に向かいます。学年末に向け宿題量も増えてきていますが、子どもたちはクラブで終わらせることを目標に集中し励んでいる姿が見られています。

室内遊びでは『スリルボム』という玩具を新しく導入しました。複数の子どもたちが楽しめる玩具で、子どもたちの盛り上がっている声がたくさん聞こえます。ルールは、爆弾（に見立てたボール）が漏斗状お皿から落ちてくるタイミングを見極めて、自分の球を爆弾より先に点数部に入れる遊びです。爆弾が落ちるのをハラハラしながらギリギリまで我慢するのでとても緊張感があります。また、プリオをはじめ色々な玩具で3・4年生が一緒に遊んでいる姿が多く見られ、より良い関係性が見られました。外遊びでは先月に引き続きサッカーやバレーボールで遊び、大縄やバドミントンでも思い切り体を動かして遊んでいます。良い子のチャイムも17時に伸びたので、外で先月より長い時間遊べることを子どもたちも喜んでいます。

まだまだ寒い日は続きますので、引き続き、手洗い・消毒を行い感染症予防に努め、子どもたちの体調の変化にも注意していきたいと思います。



子どもたちの様子




『プリオ』は男女関係なく人気の玩具です。異学年にて戦う姿も見られています。




『スリルボム』というゲームです☆
回し方を変えてみたりマイナス点から初めて見たり、ルールを少し変えてみたりして、楽しんでます。



バレーボール 



サッカー 

子どもたちの中で流行している『バレーボール』『サッカー』
外へ行くとみんなで集まってたくさん練習をしていたので、パスやシュートなどうまくできるようになりました☆彡



日々内容が難しくなり、宿題もたくさん量が出ている事もありますが、集中し最後まで頑張って終わらせていました。

～3月のてづくりおやつの日～

3月9日(木) * 豆腐入りみたらし団子

3月23日(木) * ココアプリン

